

平成22年度 決算認定

一般
会計

94億円の使い道は!?



ひまわりバス「古泉駅」の横 ビオトープ(人工池)

★決算特別委員会を、11月4日から11月28日までの5日間開催し平成22年度一般会計ほか各特別会計の歳入歳出について審査を行い決算認定について採決を行った結果、全員一致で認定いたしました。

歳入歳出決算並びに基金運用状況については、健全な財政運営がされています。

平成22年度特徴的事業は？

総務費

- * 公有財産台帳システム整備事業
- * 防災事業（防災フェア、防災土養成）

民生費

- * 子ども手当扶助事業
- * 保育所施設整備事業（エアコン設置）

衛生費

- * ビオトープ整備事業

農林水産業費

- * 地産地消促進事業
- * 水産業振興育成対策事業（製氷機購入）

土木費

- * 公園管理工事事業（遊具増設、施設改修）

教育費

- * 学校施設耐震事業
- * AV 機器整備事業

決算規模 *一般会計以外は歳出 ()内は平成21年度

一般会計

歳入決算額：	98億1,272万円	(106億1,645万円)
歳出決算額：	94億1,334万円	(101億5,416万円)
歳入歳出差引額：	3億9,937万円	(4億6,229万円)
翌年度繰越財源：	9,388万円	(9,778万円)
実質収支額：	3億0,548万円	(3億6,450万円)

国民健康保険特別会計

31億0,384万円 (31億3,046万円)

老人保健特別会計

129万円 (3,213万円)

公共下水道事業特別会計

6億1,065万円 (7億6,701万円)

介護保険特別会計

22億9,747万円 (21億2,648万円)

後期高齢者医療保険特別会計

3億2,314万円 (3億1,830万円)

水道事業会計

収益的収入：	3億8,074万円	(3億5,368万円)
収益的支出：	3億0,629万円	(3億2,737万円)